

複合型居住施設「マストライフ古河庭園」を “子育てにやさしい住まいと環境”物件として認定

・・・子育て支援住宅と高齢者向け住宅が同じ敷地・建物内併設の新タイプ・・・

“子育て支援”民間シンクタンクとして、子育て支援住宅認定制度を手がける、ミキハウス子育て総研株式会社（本社大阪府八尾市代表取締役社長 藤田 洋）は、このほど積水ハウス株式会社と積和不動産株式会社が、東京都北区において開発中の多世代交流型賃貸マンション「マストライフ古河庭園（ふるかわていえん）」の住戸のうち、約半数をしめる子育て支援住宅66戸を“子育てにやさしい住まいと環境”物件として認定しました。

高齢者向け住宅との併設施設は認定事業を2006年に開始して以来初めてのケースで、当社の認定基準を高い水準でクリアした子育て支援住宅であると同時に、多世代、特にシニア世代との交流促進に配慮されており、利用の仕方によっては、従来の二世帯住宅とは異なる、プライバシーを守りつつ究極の二世帯近居が可能な居住施設という選択肢を備えています。

少子高齢化が進む日本において、子育て世代、シニア世代の両世代に支持される社会性の高い、新たな居住空間の考え方の先駆的事例となる物件と考えられますので広くお知らせする次第です。

<「マストライフ古河庭園」の“子育てにやさしい住まいと環境”認定評価ポイント> (一部抜粋)

(共用部・管理体制)

- ・エントランス横にキッズスペースが設置されており、気軽にママ同士でコミュニケーションがとりやすい。また多目的フリースペースでは、子育て世代とシニア世代の交流が自然に進みやすい。
- ・管理人が常駐しており安心感が高い、またコンシェルジュサービスもあるので働くママにも大変便利。
- ・敷地内は歩車分離動線が確保され、またアプローチから住戸までの段差もないのでベビーカーの走行もスムーズで安全度が高い。
- ・エントランス付近に立水栓が設置されており、夏場の水遊びや、泥汚れ落としにも利用できる。
- ・平置き駐輪場があり、三輪車や子供用の自転車も収納しやすい。

(周辺環境・立地)

- ・住宅街にあり交通量の多い道路に面していない。
- ・近辺道路は歩道が整備されており、ベビーカーや子どもと手をつないでの外出がしやすい。
- ・公園が近くにあり、子どもをのびのび遊ばせやすいし、ママ同士もコミュニケーションをとりやすい
- ・救急病院や小児科など各科の医院が近くにあり、いざという時にも安心
- ・複数の学童クラブが徒歩圏にあり、働くママも安心

(住居部分)

- ・住宅内はフルフラット設計で、壁の出隅やキッチンカウンターの天板、幅木がR加工されており、安全対策がなされている。
- ・シャッター付きコンセントが採用されており、イタズラ防止策がなされている。
- ・引き戸には引き残し、開き戸にはドアクローザーが、クローゼットドアにも指はさみ防止付きタイプを採用されており、事故防止、けがの危険の軽減策がなされている。
- ・バルコニーに出る窓の高い位置に補助錠、浴室ドアにチャイルドロックが設置されており、大人のコントロールで事故防止対策がやりやすい。
- ・床、壁の遮音性能が高く、お隣近所への気遣いも少なく、ママのストレスが少ない。
- ・コンセントの位置が高めに設定されており、ママの腰の負担が軽減される。
- ・トールタイプの靴箱が採用されており、収納力が高く、玄関も片付けやすい。
- ・バルコニーにスロップシンクがあり、泥汚れが落とせたり、ガーデニングが楽しめる。
- ・収納内部に可動棚が設置されており、生活者のニーズにあわせて対応でき、便利。

<問合せ先>

ミキハウス子育て総研株式会社

取締役 乾 浩明 (いぬい ひろあき)

電話 06-4797-1088 (大阪事務所)

03-5776-2242 (東京事務所)

メール inui@happy-note.com

会社ホームページ <http://www.happy-note.com/>